

五輪で平和の祈りを

リオ開会式 広島原爆投下と同時間帯

被爆地、ブラジル運動広がる

リオデジャネイロ五輪が開幕する8月6日は広島「原爆の日」でもある。原爆投下から75年、五輪開会式と重なる今回の五輪、広島、長崎の被爆地やブラジルの被爆者団体から、平和への祈りの時間を設けてほしいと求める動きが広がっている。

リオと日本の時差は12時間。広島に原爆が投下されたのは6日午前8時15分。五輪開会式は同日午前6時11時（日本時間）に予定されている。

もう一つの被爆地である長崎市では8月6日午前8時15分、被爆者支援団体の主催で平和委員会が地元の高中生らを招いて、同市の平和公園にあるブラジル・サントス市から寄贈された「平和の鐘」前

で1分間黙とうする。被爆者団体は「五輪が本

当の意味で平和の祭典となるように、世界と一つにな

って祈りをささげたい」と

求めた。広島市では松井一実市長が5月、核廃絶を掲げる

長官の会合として、国際

オリンピック委員会（IO

C）に開会式での黙とうを

呼びかける文書を送った。

同会議事務局によると、6

月に返信があり、「開会式

で黙とうする人への思いを

（編集局）